2011年3月期

決算説明会

2011年8月30日
株式会社 ユタカ技研

ご説明内容

Ⅰ．2011年3月期 決算概況

Ⅱ．2012年3月期 第1四半期 決算概況

Ⅲ．2012年3月期 見通し
～1. 上期見通し
～2. 通期見通し

Ⅳ．事業状況

2011年3月期
決算概況

11年3月期連結決算概況

（単位：億円）

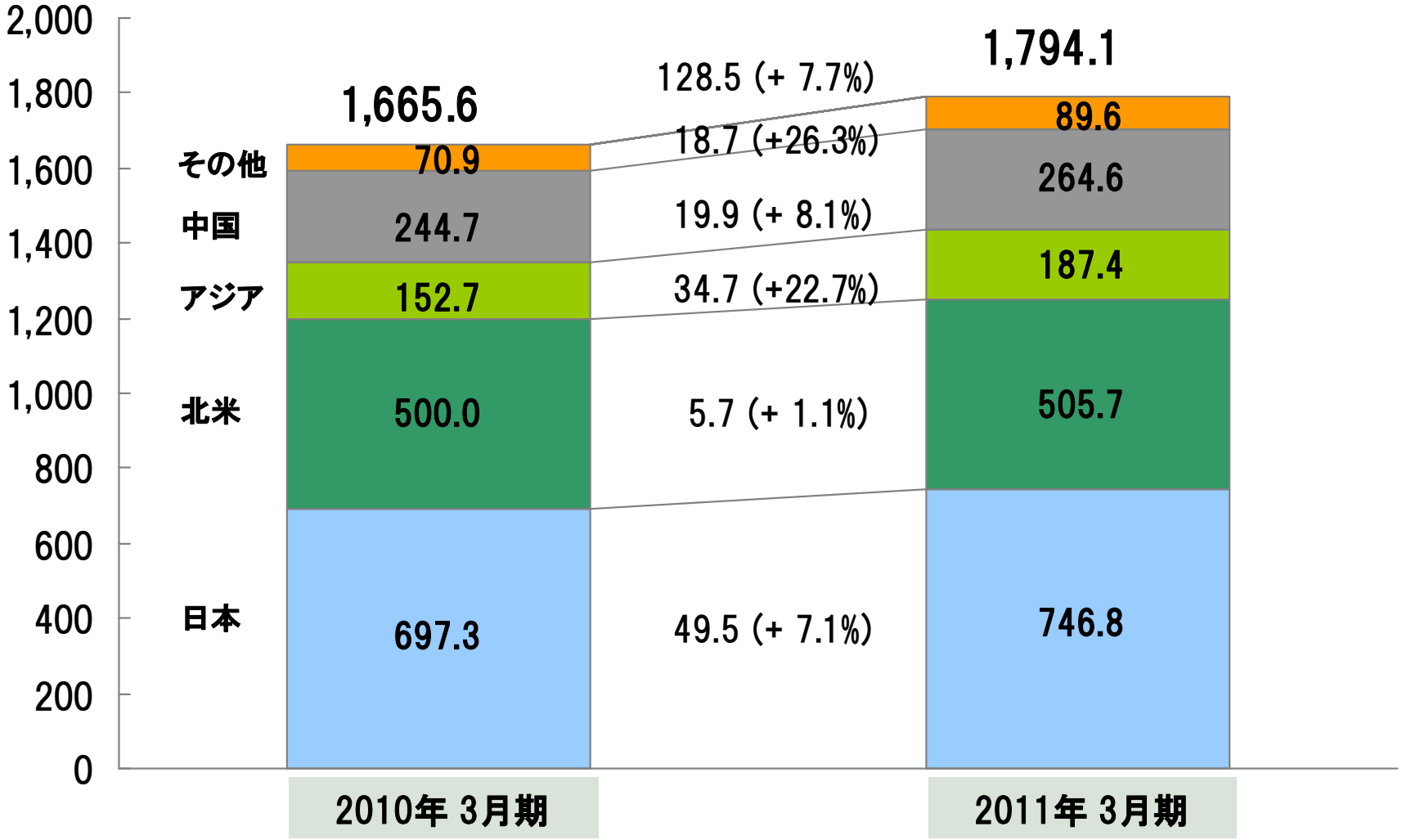
	2010年 3月期	2011年 3月期	増　減
売上高	1,665.6	1,794.1	7.7 %
営業利益	68.5	114.9	67.6 %
経常利益	66.0	111.3	68.5 %
当期純利益	39.2	61.0 ＊震災影響に伴う特別損失5.4含む	55.7 %
1株当り当期純利益	264.63円	412.07円	147.44円
1株当り配当金	30.0 円 ＊中間 11円，期末 19円	35.0 円 ＊中間 15円，期末 20円	5.0 円
	($1=¥92)	($1=¥85)	

為替影響、震災影響はあったものの、増収増益（各利益共 過去最高益）

11年3月期連結決算概況　地域別売上高

（単位：億円）

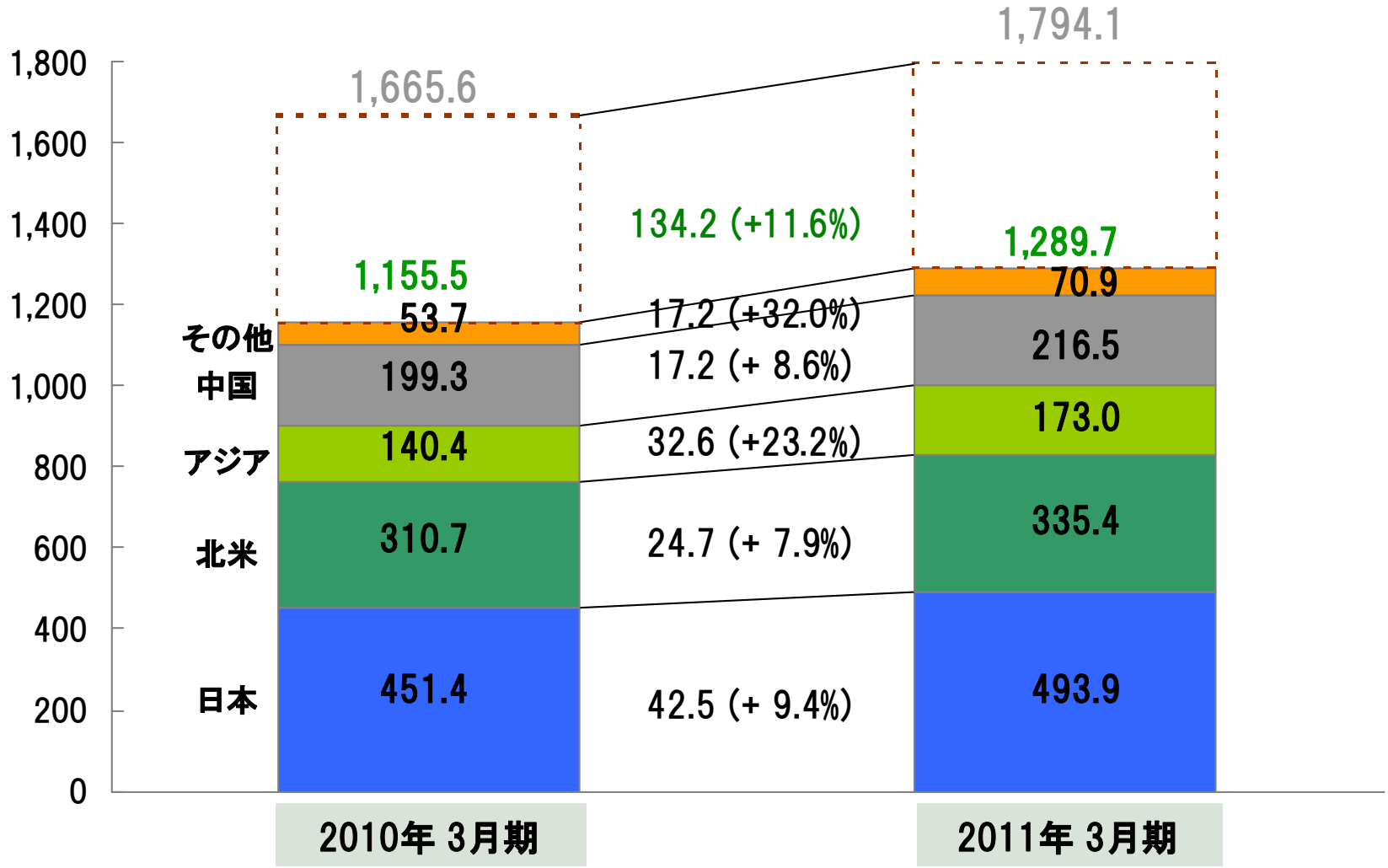
（セグメント間の内部売上高又は振替高を除く）



為替影響はあるものの、全地域にて増収

11年3月期連結決算概況 地域別売上高（キャタリスト抜き）

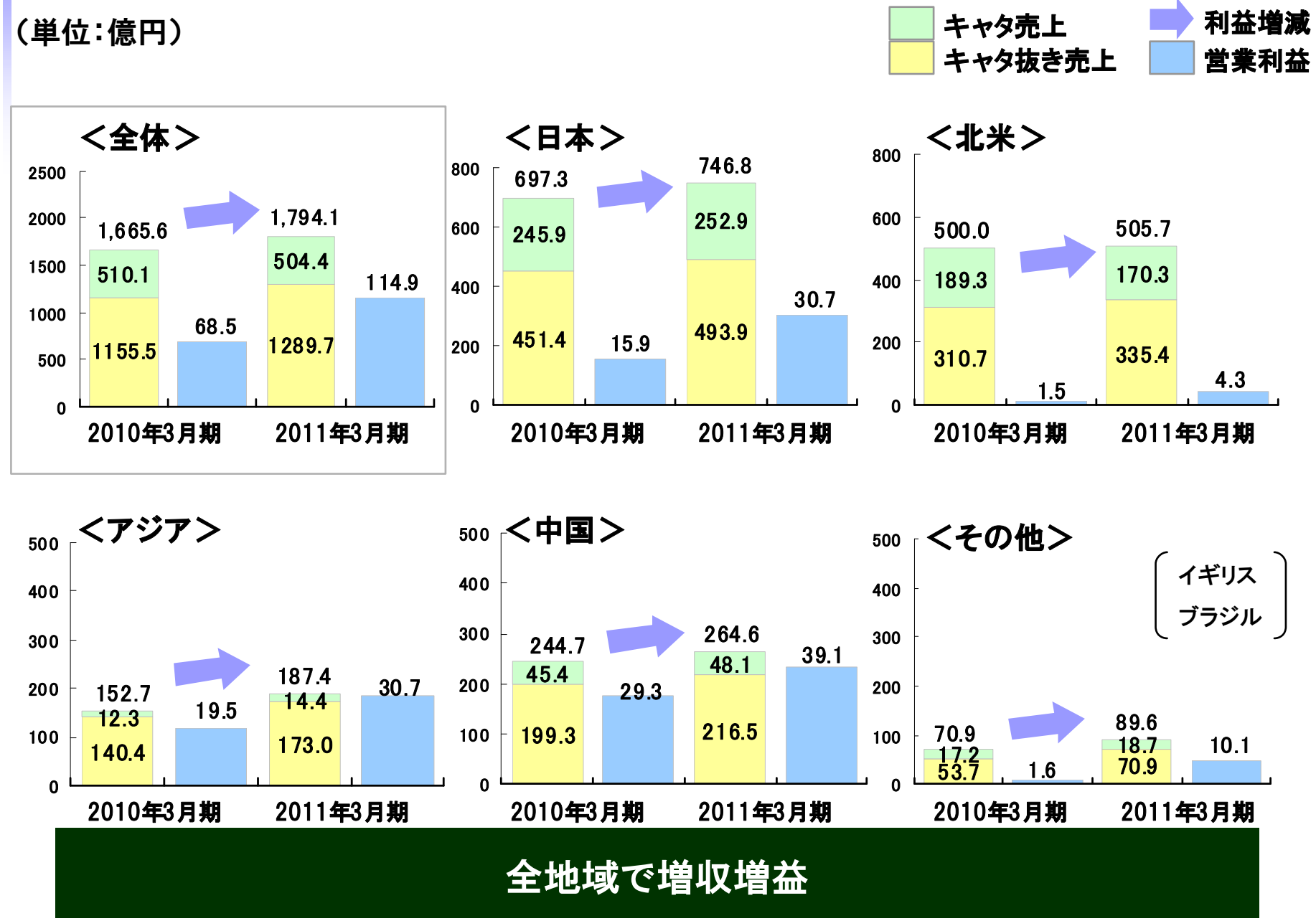
（単位：億円）



キャタリスト抜きでも全地域で増収

11年3月期連結決算概況　地域別営業利益

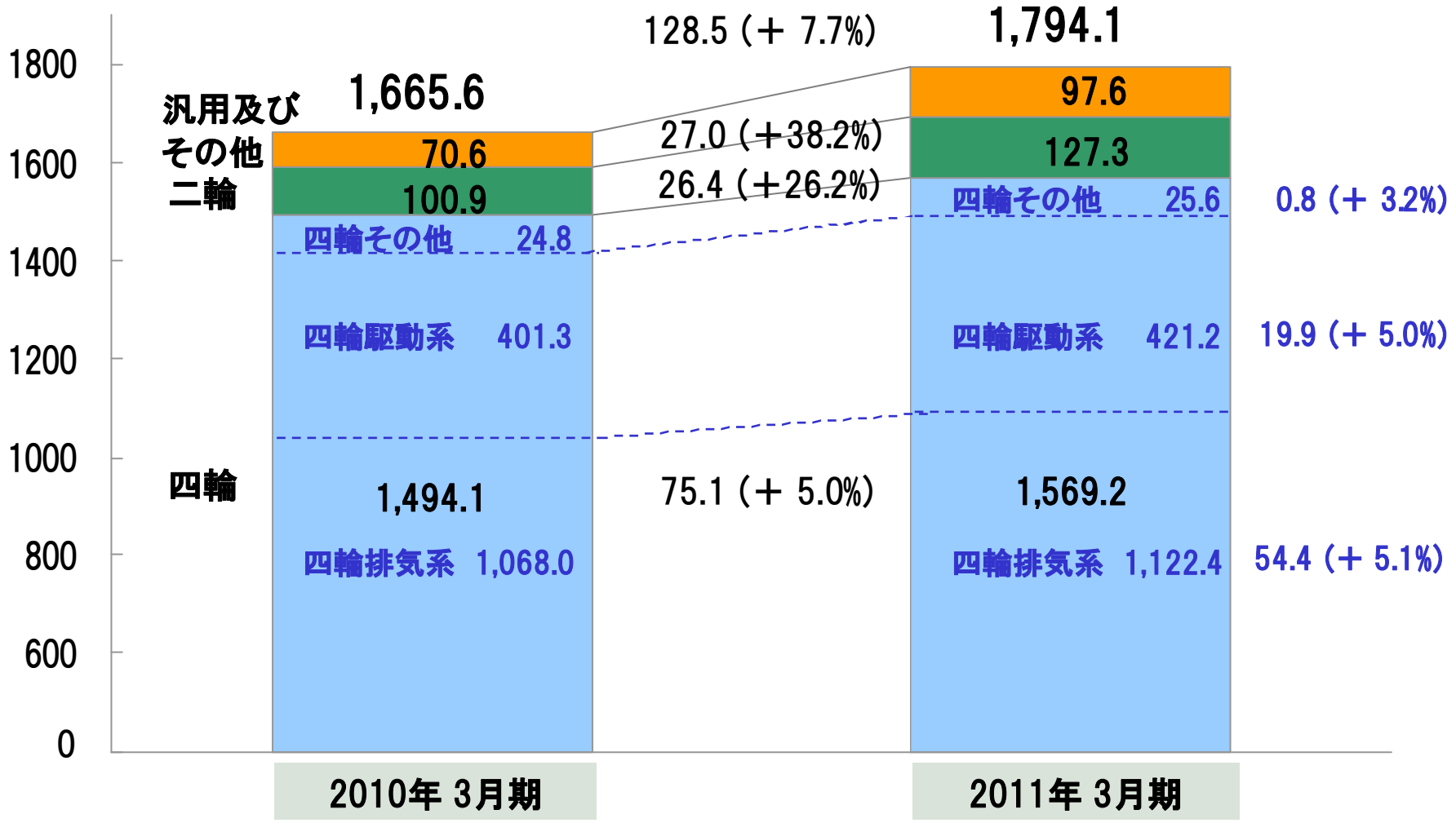
（単位：億円）



全地域で増収増益

11年3月期連結決算概況　製品別売上高

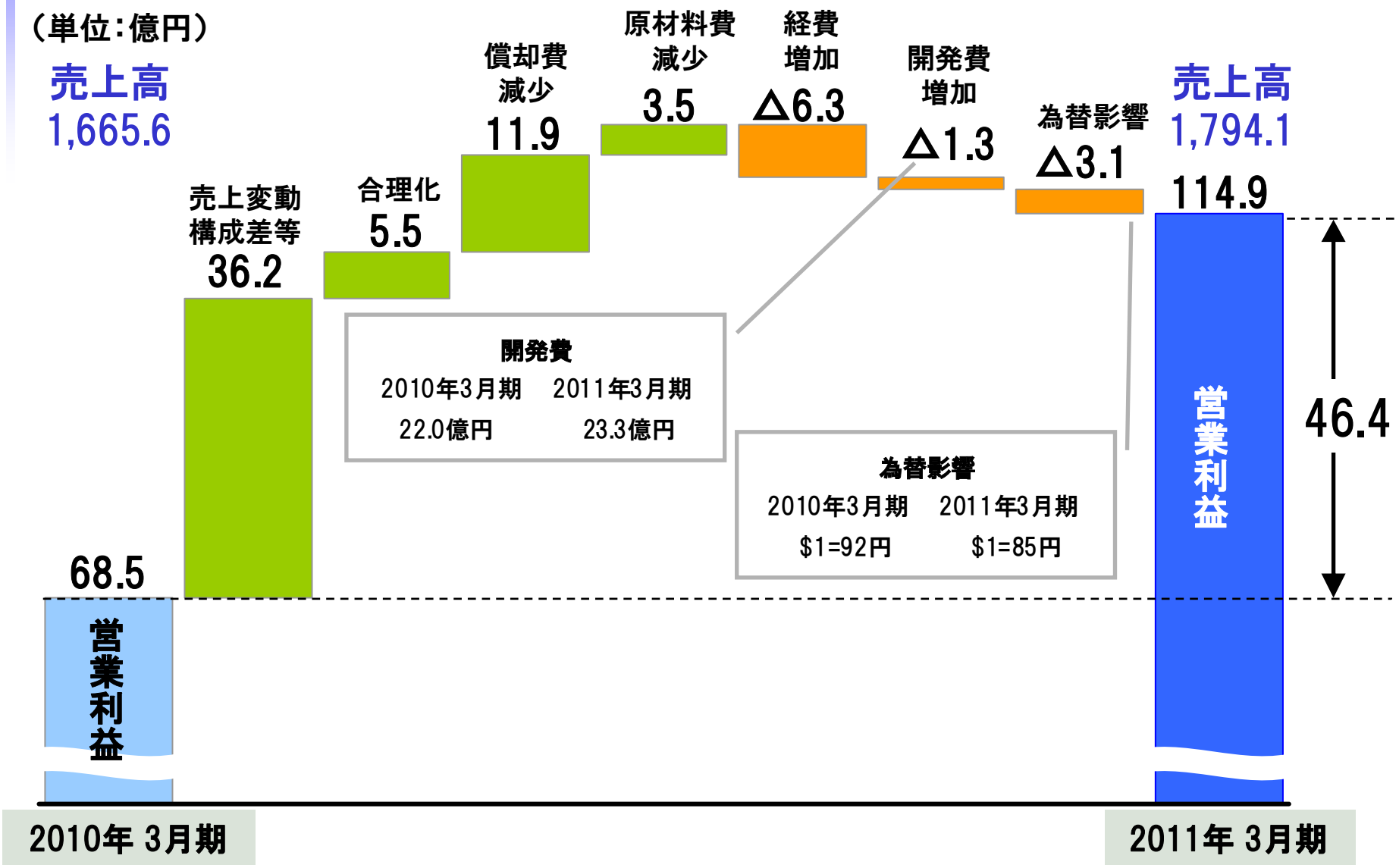
（単位：億円）



売上高はすべての製品で増収

11年3月期連結決算概況　営業利益 増減要因

（単位：億円）



売上増加ならびに合理化等により、為替影響をカバーし46.4億円の増益

2012年3月期
第1四半期
決算概況

12年3月期第1四半期連結決算概況

（単位：億円）

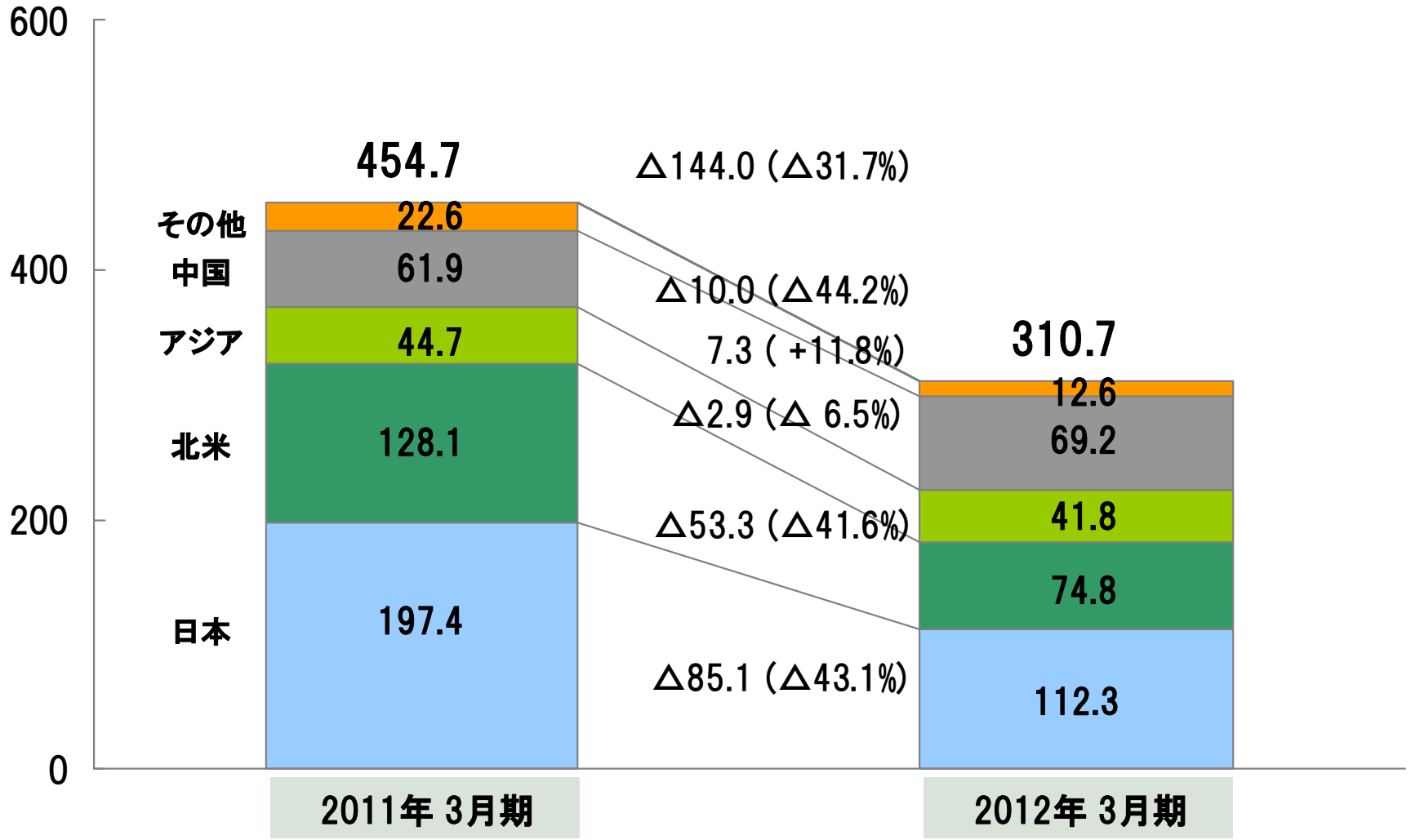
	2011年 3月期	2012年 3月期	増　減
売上高	454.7	310.7	△31.7 %
営業利益	30.9	2.5	△91.7 %
経常利益	30.0	3.1	△89.5 %
四半期純利益	17.0	1.9	△88.8 %
1株当り四半期純利益	114.95円	12.91円	△102.04円
	($1=¥92)	($1=¥81)	

震災による受注減により、減収減益ながら黒字確保

12年3月期第1四半期連結決算概況　地域別売上高

（単位：億円）

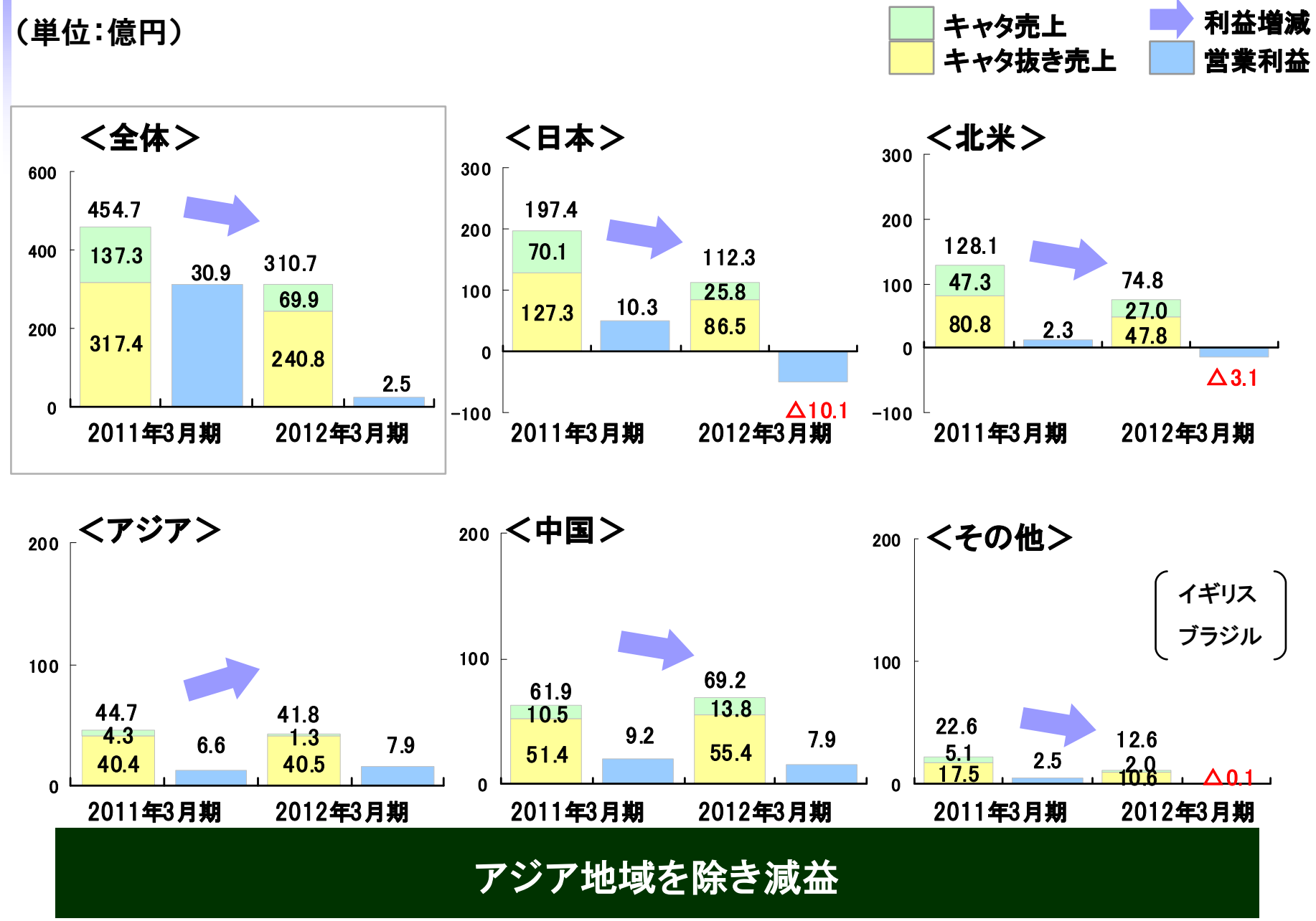
（セグメント間の内部売上高又は振替高を除く）



中国地域を除き、震災影響により減収

12年3月期第1四半期連結決算概況 地域別営業利益

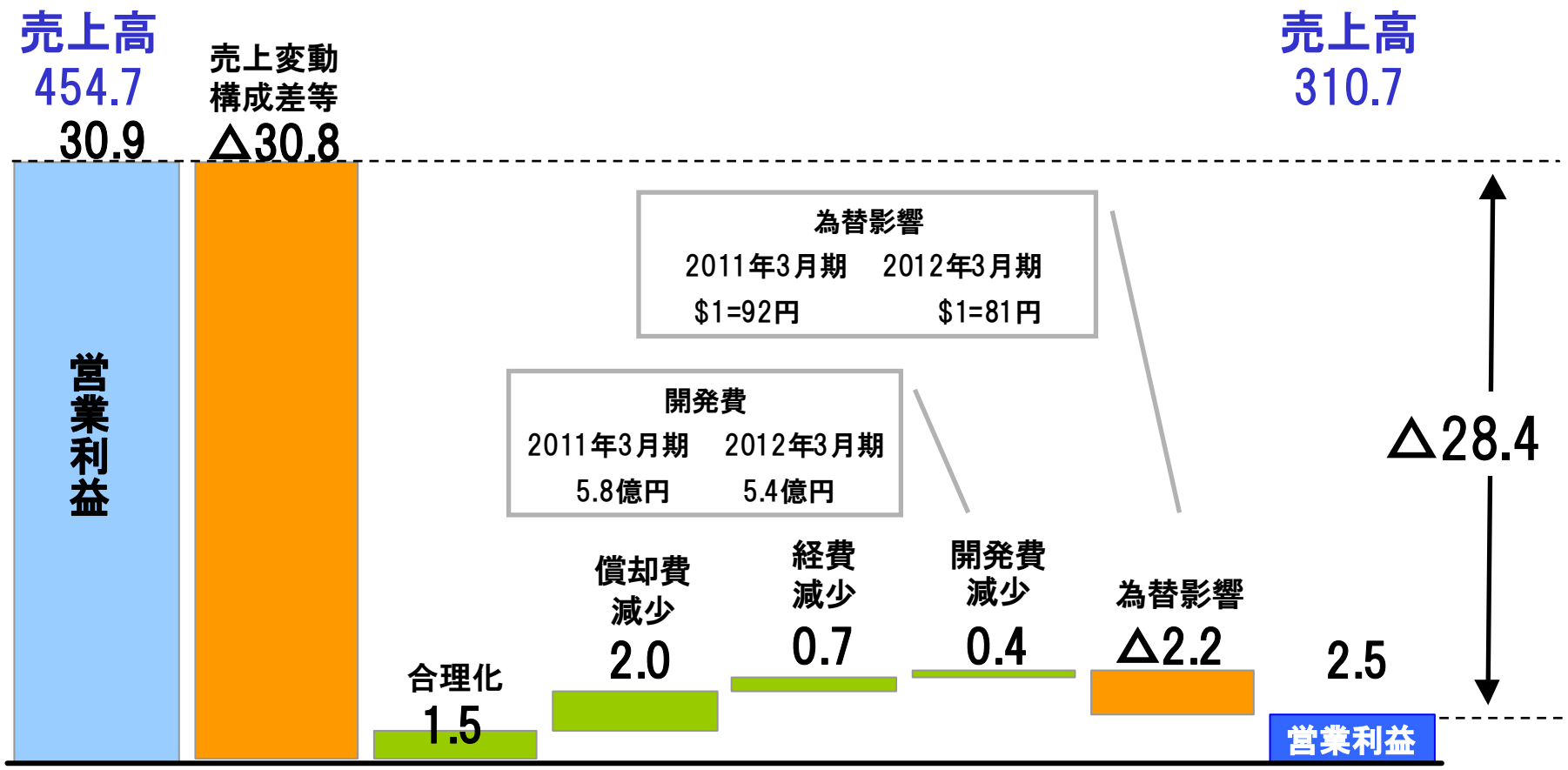
（単位：億円）



アジア地域を除き減益

12年3月期第1四半期連結決算 営業利益 増減要因

（単位：億円）



2011年 3月期

2012年 3月期

震災による売上減影響が大きいものの合理化、経費減少等で黒字確保

2012年3月期
上期見通し

12年3月期上期連結見通し

（単位：億円）

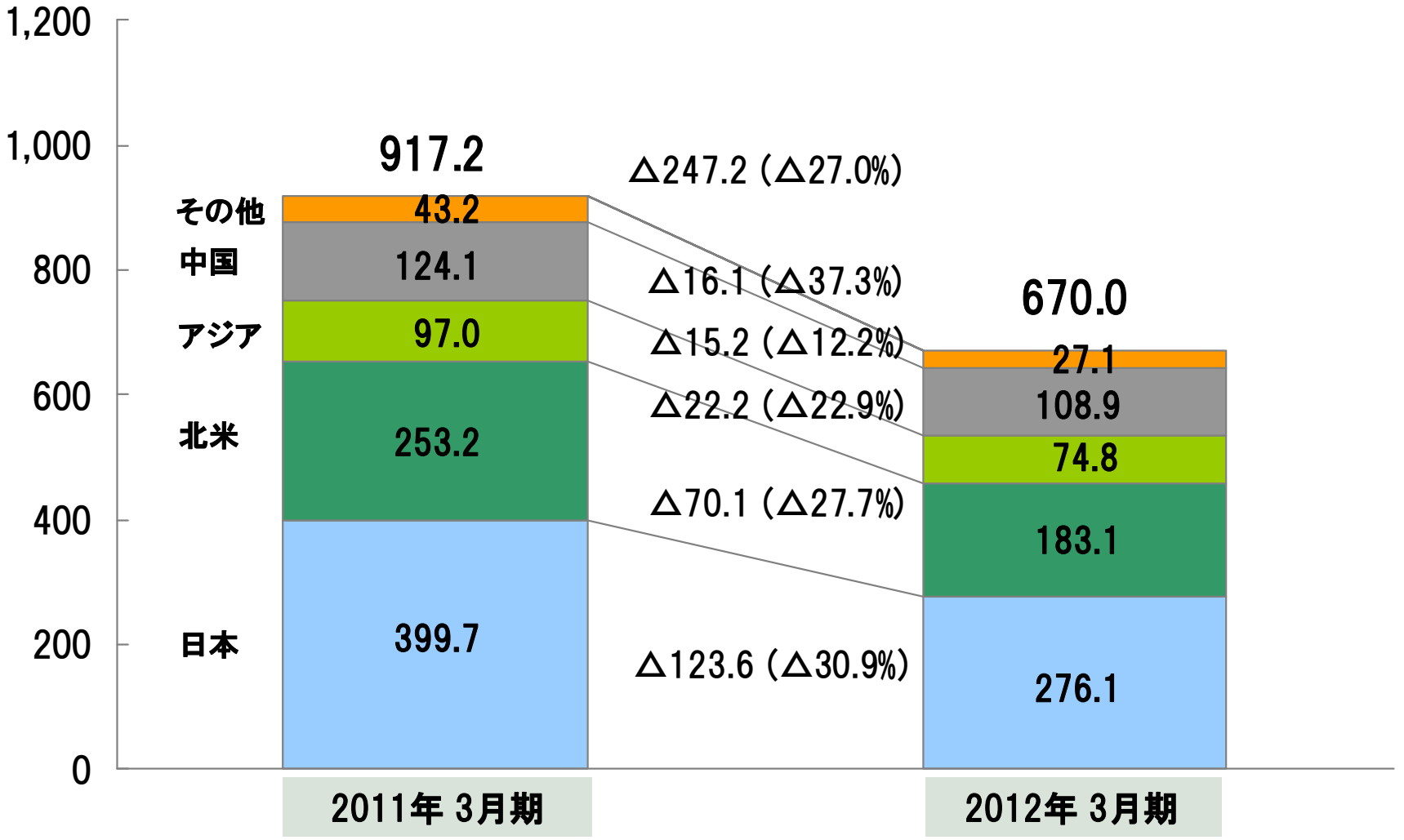
	2011年 3月期	2012年 3月期	増　減
売上高	917.2	670.0	△27.0 %
営業利益	59.9	7.0	△88.3 %
経常利益	57.5	7.5	△87.0 %
四半期純利益	34.8	1.0	△97.1 %
1株当り四半期純利益	234.96円	6.75円	△228.21円
	($1=¥88)	($1=¥80)	

第1四半期の減産及び為替影響により減収減益

12年3月期上期連結見通し　地域別売上高

（単位：億円）

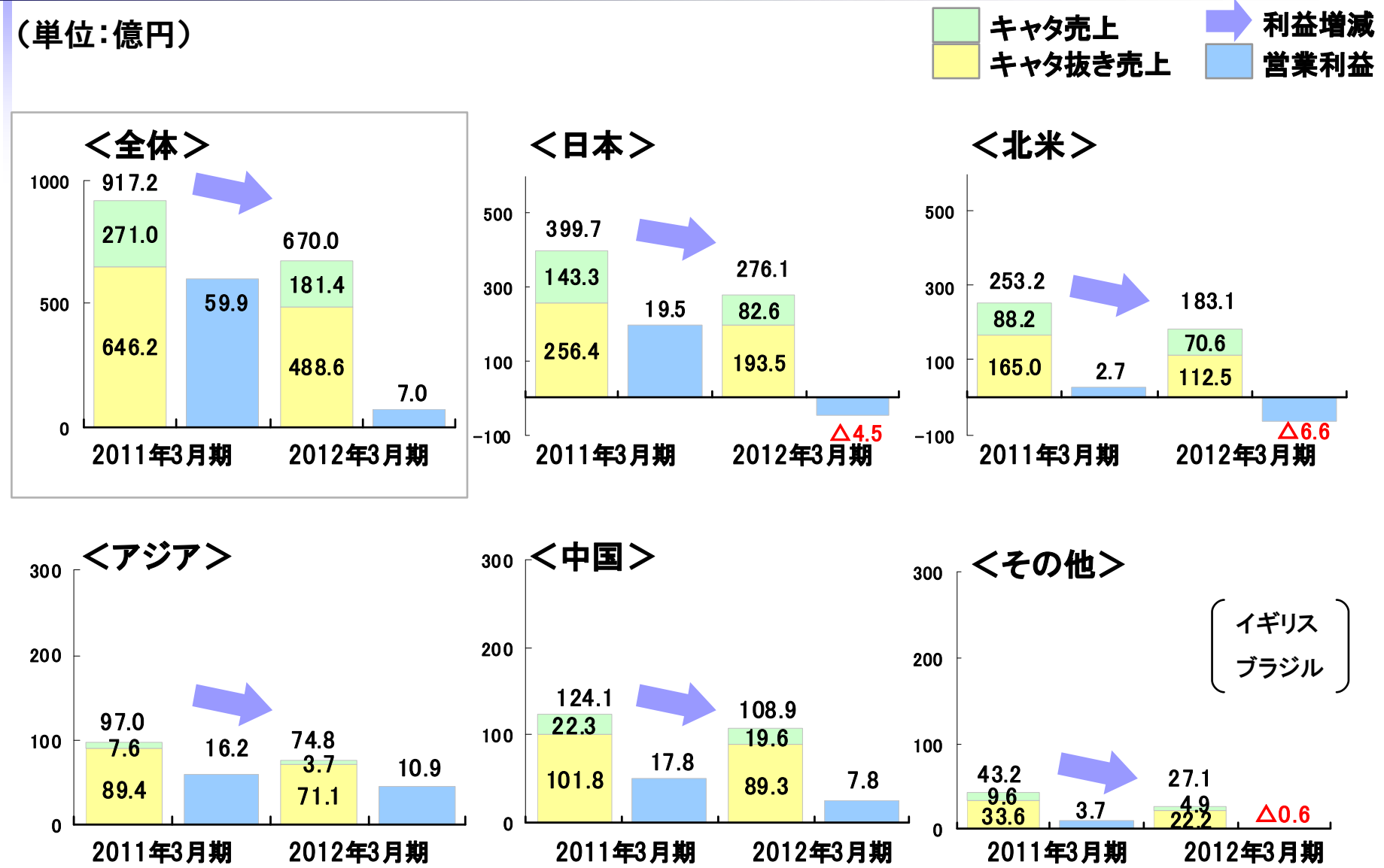
（セグメント間の内部売上高又は振替高を除く）



全地域で減収

12年3月期上期連結見通し　地域別営業利益

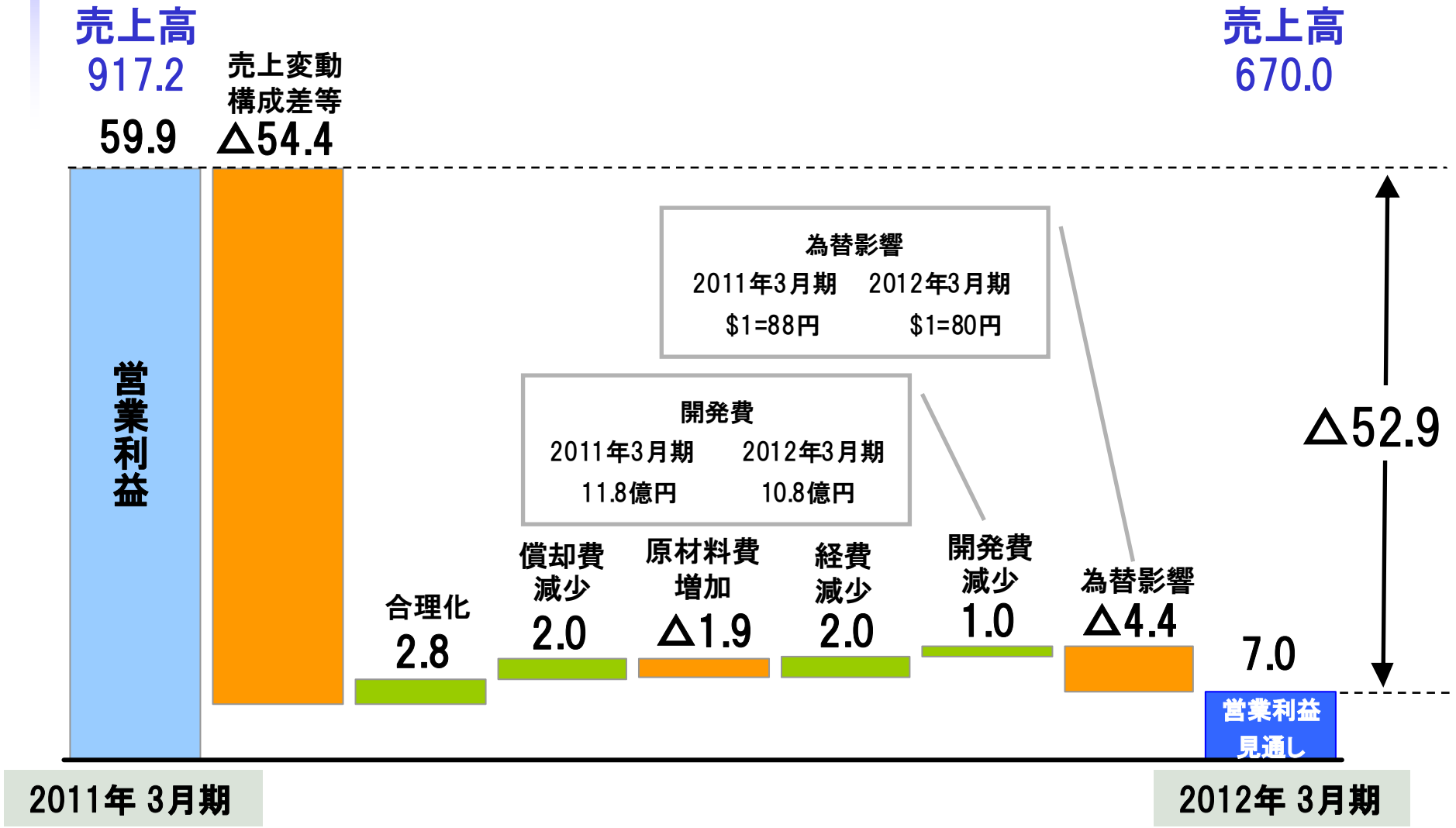
（単位：億円）



アジア、中国地域の利益が貢献

12年3月期上期連結見通し　営業利益 増減要因

（単位：億円）



上期売上減、為替影響が大きいものの黒字確保

2012年3月期
通期見通し

12年3月期連結見通し

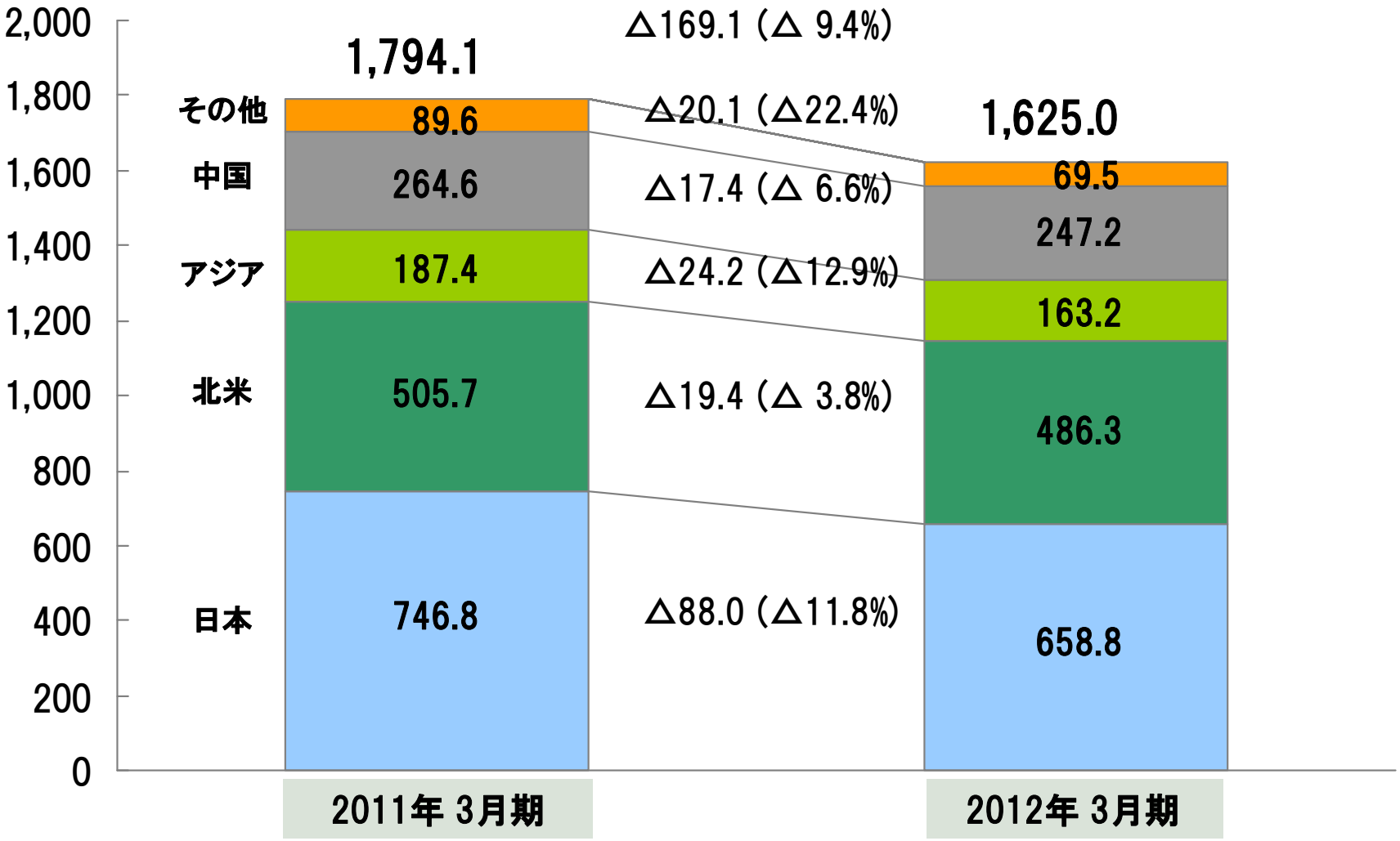
（単位：億円）

	2011年 3月期	2012年 3月期	増　減
売上高	1,794.1	1,625.0	△9.4 %
営業利益	114.9	62.0	△46.1 %
経常利益	111.3	62.0	△44.3 %
当期純利益	61.0 ＊震災影響に伴う特別損失5.4含む	33.0	△46.0 %
1株当り当期純利益	412.07円	222.69円	△189.38円
1株当り配当金	35.0 円 ＊中間 15円，期末 20円	35.0 円 ＊中間 17円，期末 18円	- 円
	($1=¥85)	($1=¥80)	

減収影響及び為替影響により減益

12年3月期連結見通し　地域別売上高

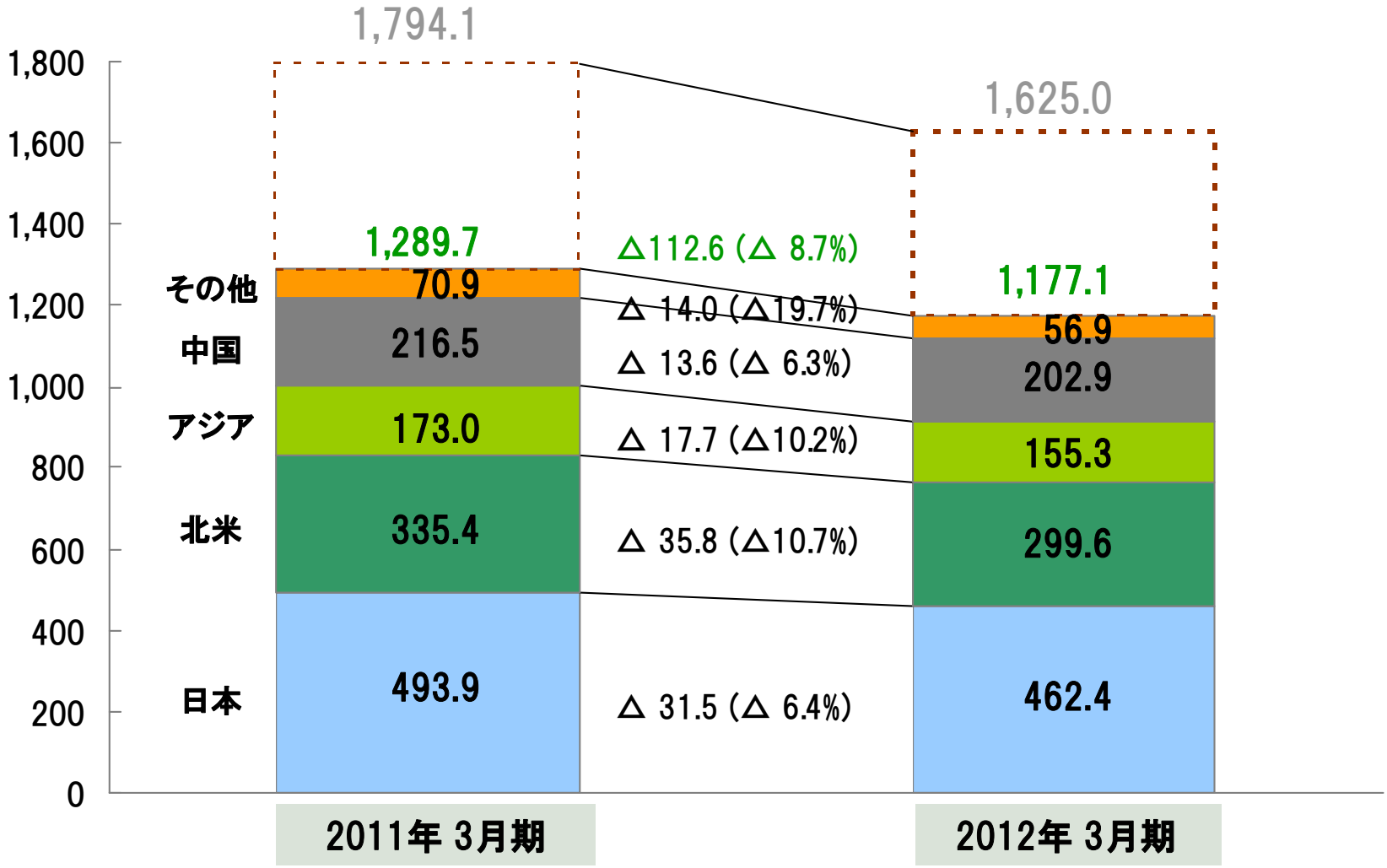
（単位：億円）　　（セグメント間の内部売上高又は振替高を除く）



下期は増収となるものの、通期では9.4%の減収見通し

12年3月期連結見通し　地域別売上高(キャタリスト抜き)

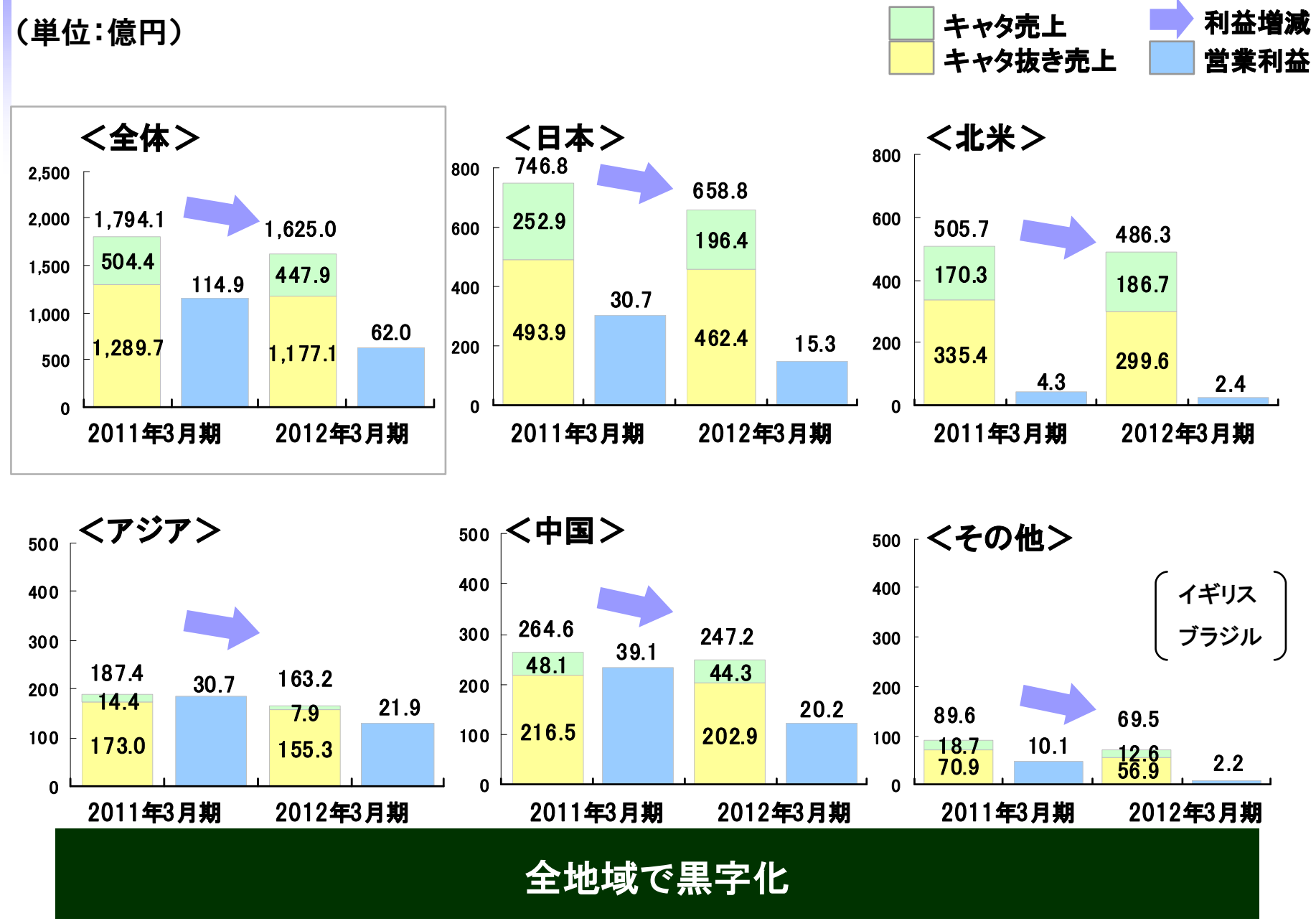
(単位:億円)



キャタリスト抜きでも減収見通し

12年3月期連結見通し　地域別営業利益

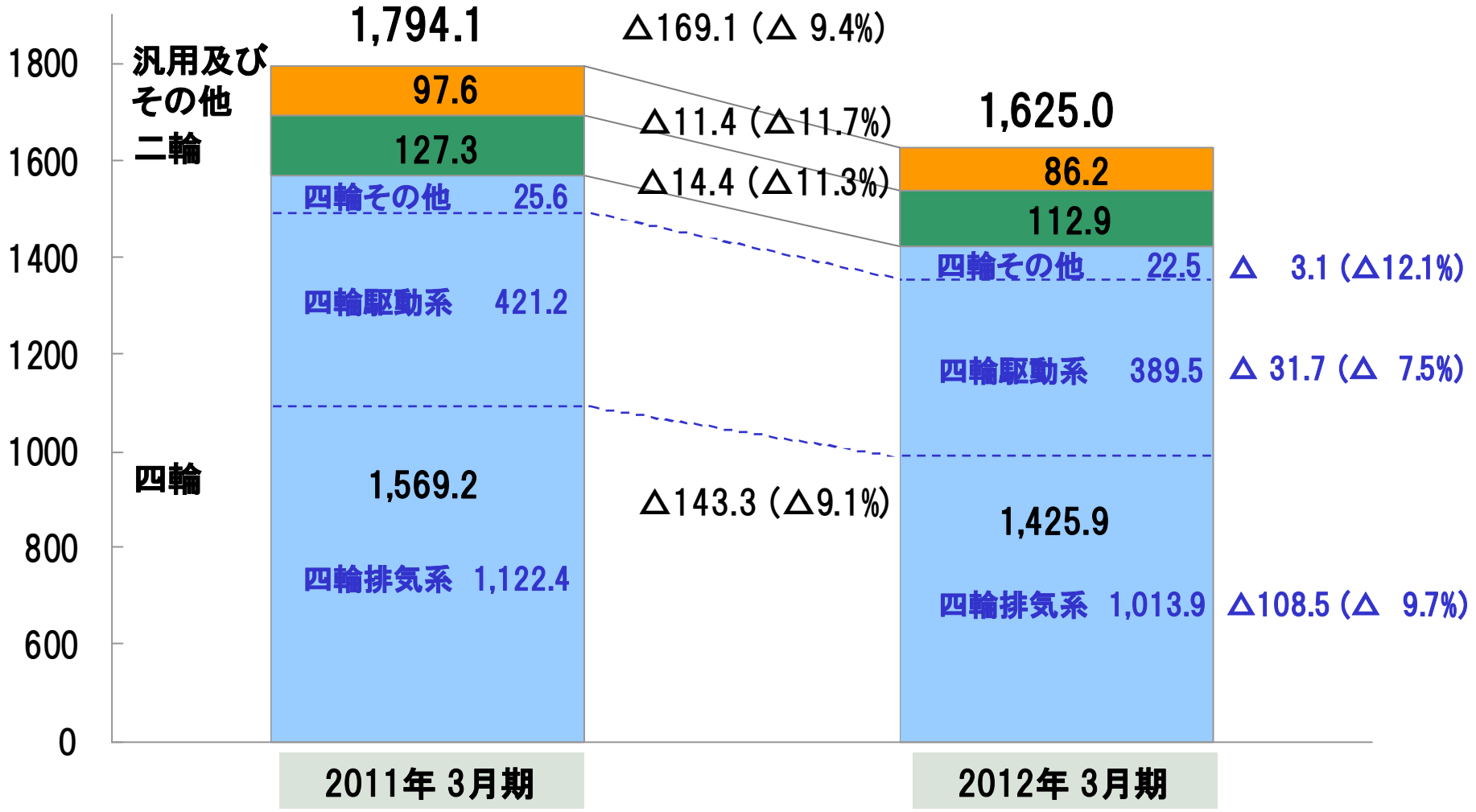
（単位：億円）



全地域で黒字化

12年3月期連結見通し　製品別売上高

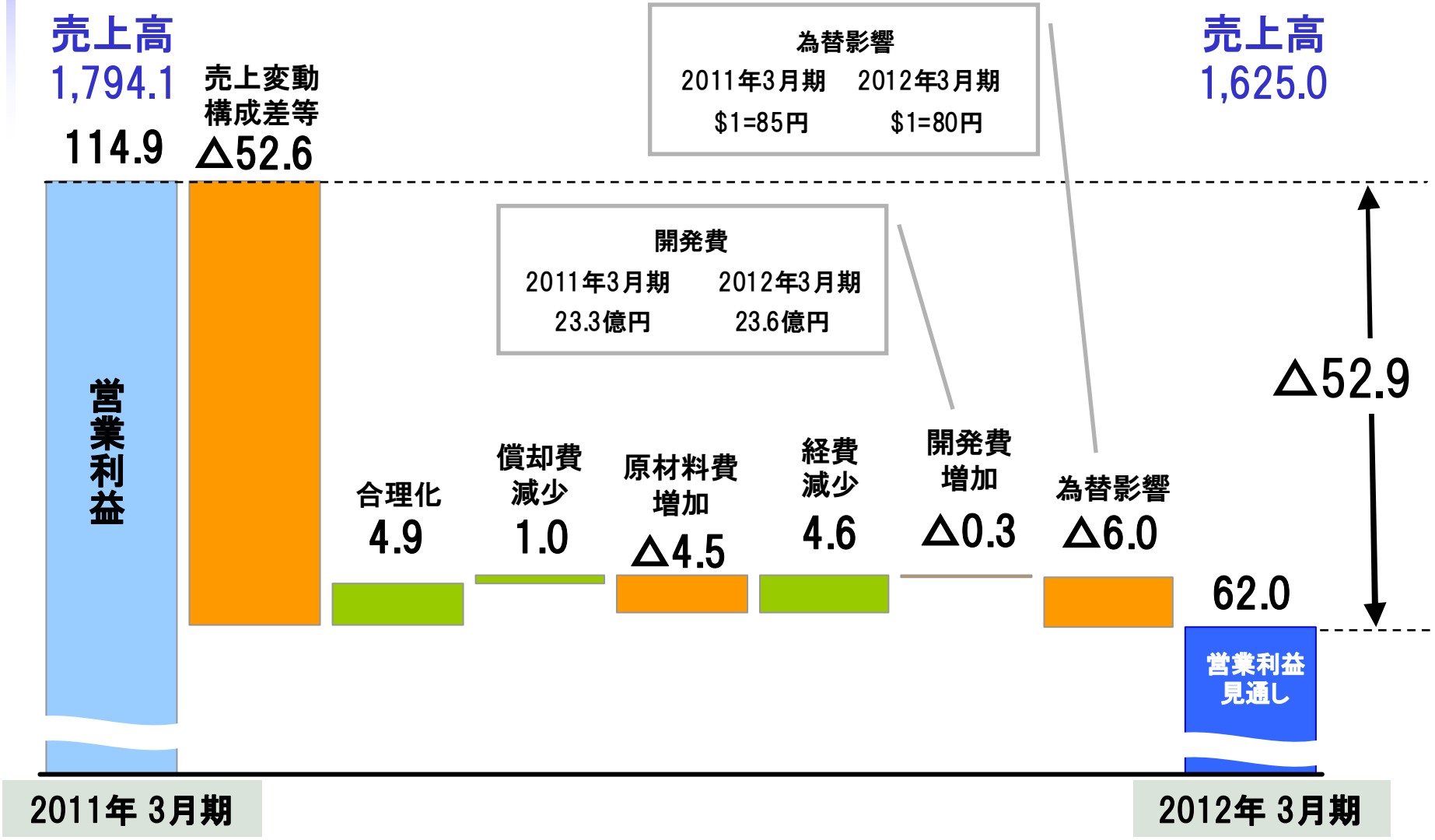
（単位：億円）



全ての製品で減収

12年3月期連結見通し　営業利益 増減要因

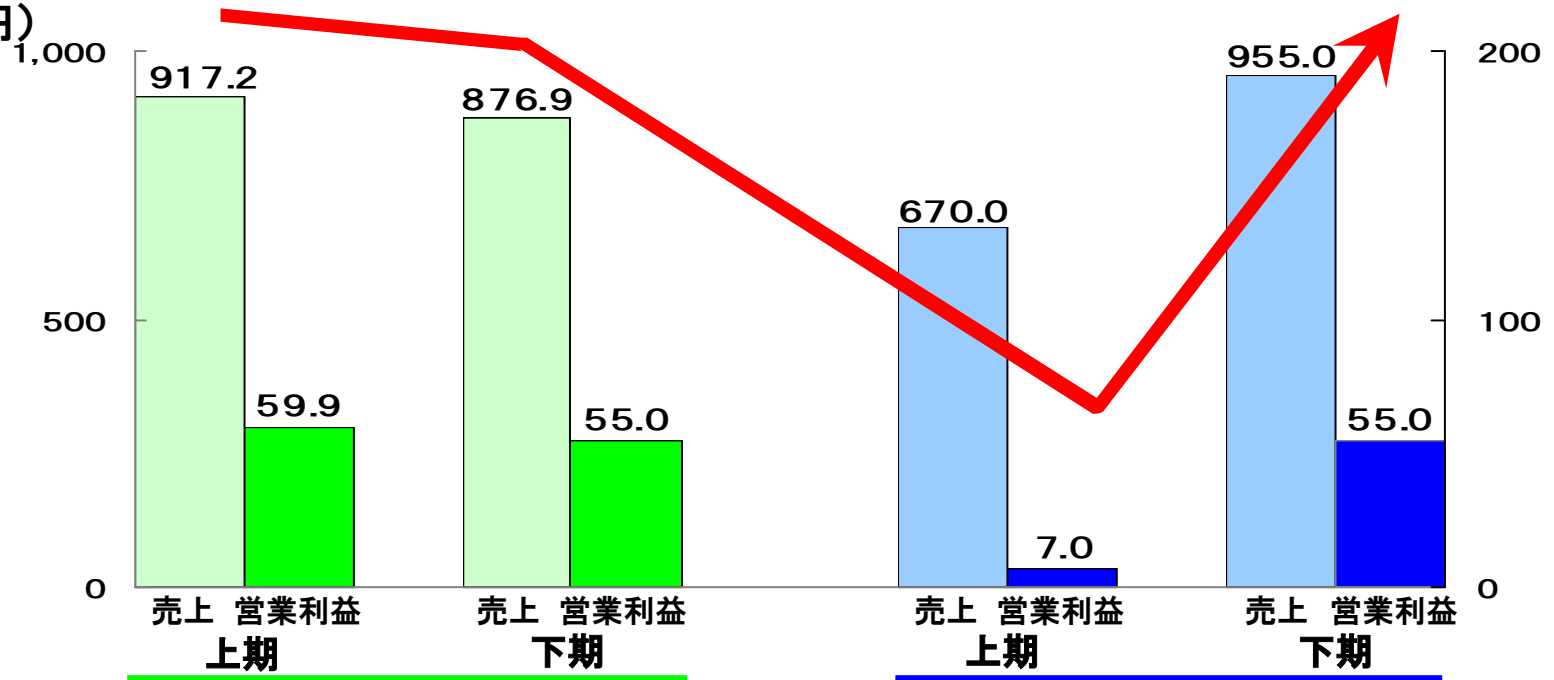
（単位：億円）



合理化効果や費用削減により減益幅を最小化

12年3月期連結見通し　営業利益 上期/下期比較

（単位：億円）

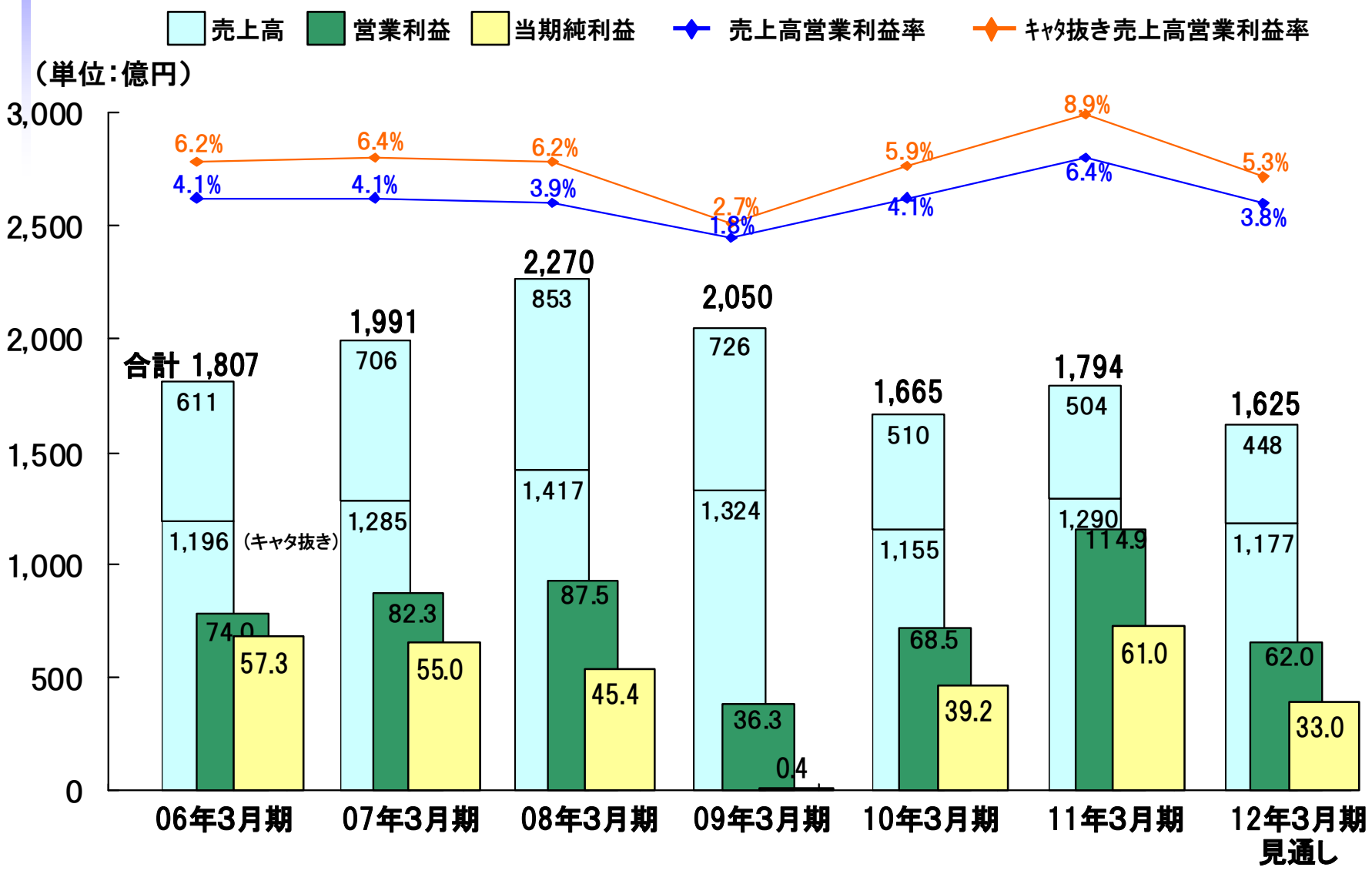


＜地域別 営業利益＞

	2011年 3月期		2012年 3月期	
	上期	下期	上期	下期
日本	19.5	11.2	△4.5	19.8
北米	2.7	1.6	△6.6	9.0
アジア	16.2	14.5	10.9	11.0
中国	17.8	21.3	7.8	12.4
その他	3.7	6.4	△0.6	2.8
合計	59.9	55.0	7.0	55.0

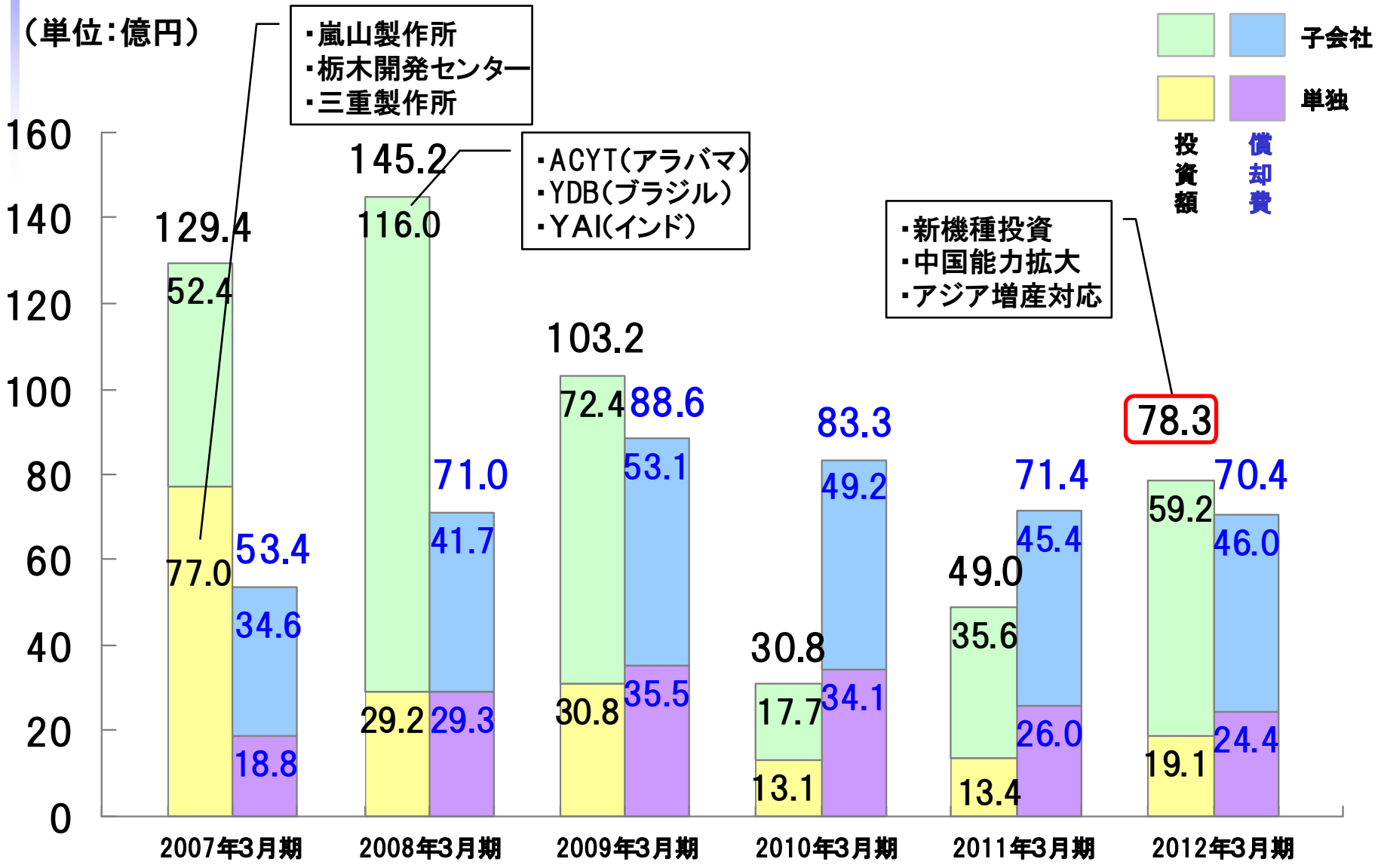
今下期は前期並みに回復

12年3月期連結見通し　売上及び利益の推移



10年3月期と同様レベルの利益を確保

12年3月期連結見通し　設備投資額の推移



新機種、中国能力拡大及び増産対応投資を実施

事業状況

1.第11次中期計画について
2.事業活動内容について

事業状況

1.第11次中期計画について

2.事業活動内容について

第11次中期計画について

第11次中期スローガン



行動指針

- 環境変化を的確につかみスピーディに行動
- 技術と経験を伝授し共に進化
- 世界のユタカ人POWERを結集し共に前進
- 仲間と語り活気ある職場づくり

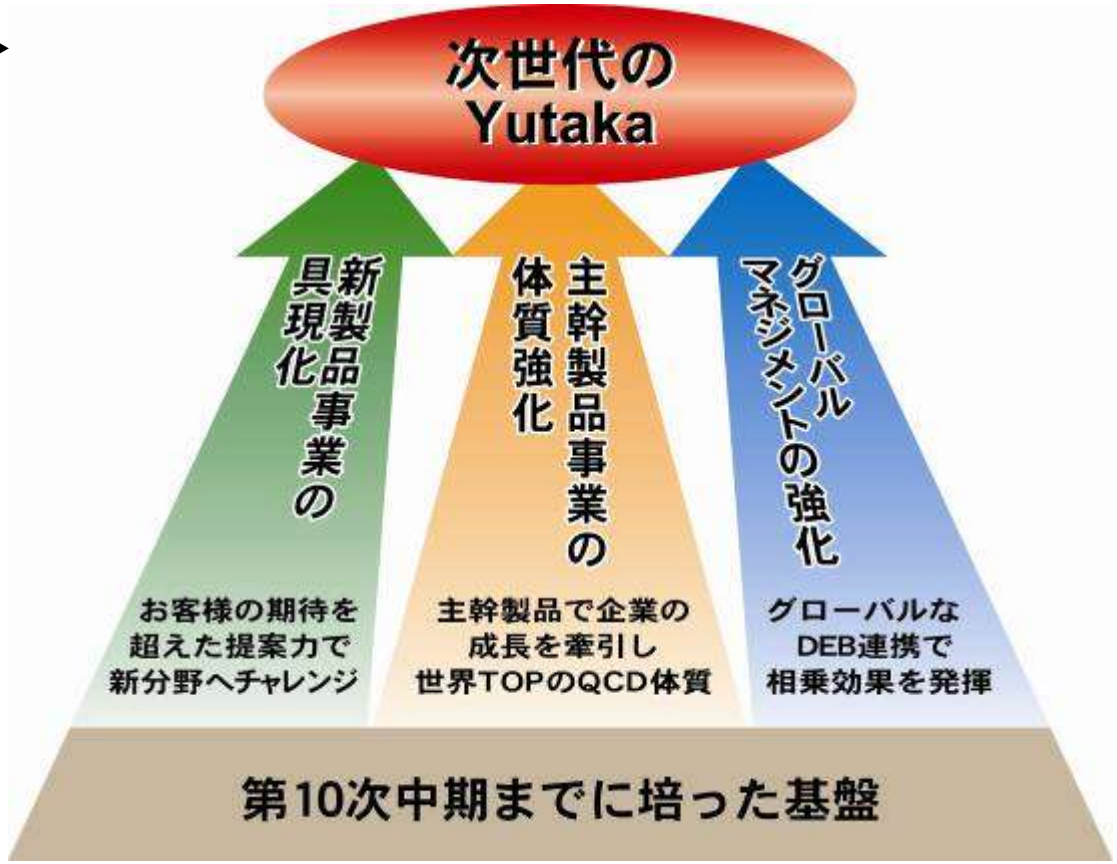
第11次中期計画について

第11次中期計画

＜全社方針＞

・常に新しい価値を創造し、独創的な製品を供給し続ける企業
・環境負荷を積極的に削減し、世界各地でお客様に貢献する企業

＜戦略テーマ＞



事業活動について①

戦略テーマ①　主幹製品事業の体質強化



Q 世界 TOP の Yutaka 品質の実現

C グローバルコスト競争力の強化
- 主幹製品の進化
- グローバルでの設備金型力の構築

D グローバル最適生産体制の確立

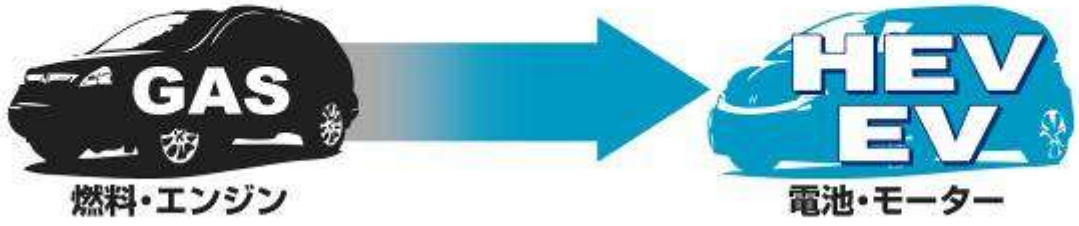
Yutaka グローバル戦略で「究極の製品」に進化

主幹製品で企業の成長を牽引し世界TOPのQCD体質の実現

事業活動について②

戦略テーマ②　新製品事業の具現化

HEV、EVの進化





Yutakaの技術力の更なる強化を図り
お客様の期待を超える提案力で新分野へ挑戦

事業活動について③

戦略テーマ③　グローバルマネージメントの強化





・グローバル部品事業本部を新設し全本部を横串、最高効率で動かす
・製品軸の戦略会議体制を整備し、グローバル最適の加速

事業状況

1.第11次中期計画について

2.事業活動内容について

第11次中期展開の方向性

キーワード　環境　ECO　安価　連携　スピード

トルクコンバータ

軽量コンパクト化において業界TOPクラス。
LC(※)新仕様で低燃費化と現調拡大で
最廉価を達成する。
※LC=ロックアップクラッチの略。トルクコンバータの動力伝達効率をよくするクラッチ機構。



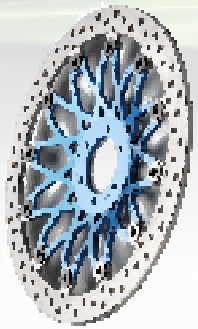


排気一貫システム

タイやインドなどのアジア地域で拡大するエントリーカー市場に向けて新開発した排気一貫システム。
更なる部品点数の削減や現調率大幅拡大で環境性能に優れた廉価製品を実現する。

二輪 ディスク

コスト競争力のあるインドネシア、インドに集約しグローバル供給。
更なる現調拡大で世界TOPレベルの競争力を実現する。



新製品

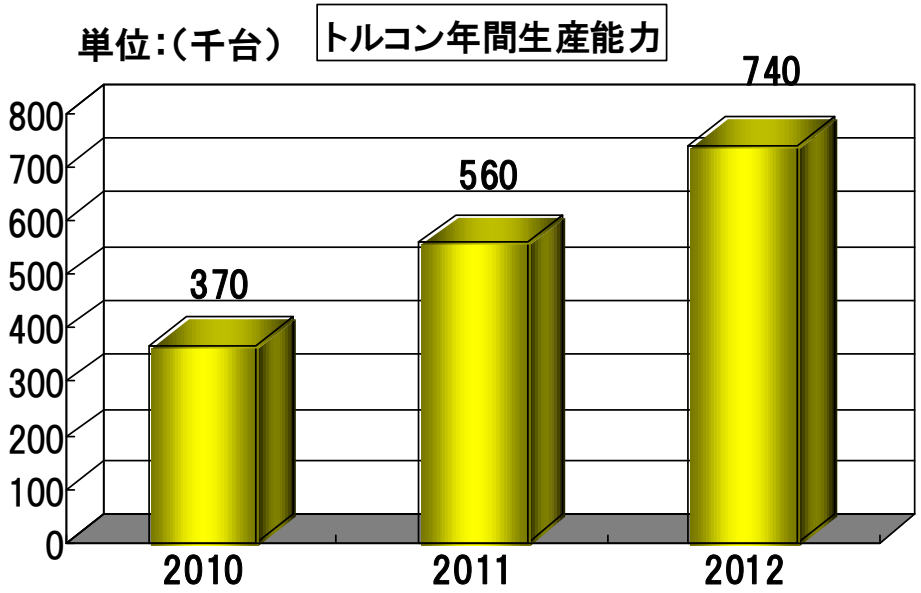
更なる環境性・燃費効率に優れた製品開発の積極展開。

事業活動の事例　＜成長市場の中国における生産能力拡大＞



CFY工場拡張完成予想図　2011年10月完成

会社名　：　佛山優達佳汽配有限公司(CFY)
設立日　：　2004年8月
従業員数　：　271人(2011年3月末)
生産品目　：　トルクコンバーター、ドライブプレート
車種　：　CIVIC,CR-V,SPIRIOR,ACCORD,
CITY,FIT,ODYSSEY
主要取引先：　WDHAC(東風本田汽車有限公司)
DHEC(東風本田発動機有限公司)



工場拡張と段階的な
ライン能力拡大を実施

CFYトルコン生産能力拡大を図りお客様の需要拡大に対応

その他の企業活動　＜2輪レース活動＞

～2R DISC POWERレース活動～
テクニカルスポンサーとしてブレーキディスク供給を積極展開

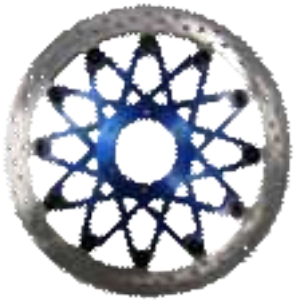
MotoGP

Hondaのワークスチーム
Repsol Honda Teamへ
FRとRRブレーキディスク供給











Repsol Honda Team 仕様ブレーキディスク(左)フロント(右)リア

全日本モトクロス

モトクロス専用ブレーキディスク
Yutaka初の開発と供給に挑戦











Team HRC 仕様ブレーキディスク(左)フロント(右)リア

レースでの好成績に貢献しYutakaの開発力と技術力を実証

東日本大震災　～Yutakaの状況と対応～

●被害状況




・栃木開発センターの建物及び研究開発設備の一部に被害
・4月1日時点で復旧が完了し研究開発活動を再開

●義捐金・物資寄付活動




・全拠点で義捐金活動を実施
　会社及び従業員より国内外合わせおよそ2,000万円の義捐金を寄付
・物資（毛布）寄付

●生産対応について

・海外向け四輪自動車及び二輪自動車部品、汎用部品は生産を継続しておりましたが、地震発生以降休止しておりました国内向け四輪自動車部品の生産は4月11日より再開し4～5月の操業率は5割程度で推移しました。6月より順次回復し、下期の受注増に対応できる体制を整えております。
・また、福島原発事故により夏場の電力供給不足を回避すべく、自動車産業全体で輪番操業（木・金休業、土・日稼動）を9月末まで実施するなど電力量削減施策にも取り組んでいます。


YUTAKA
Clean for the Future